

平成 29 年 11 月 2 日

焼津市長 中野弘道 様

焼津市総合計画等審議会
会長 日詰一幸

第 6 次焼津市総合計画基本構想及び基本計画について（答申）

平成 28 年 7 月 7 日付け焼 21-83 号により諮問があったこのことについては、慎重に審議した結果、概ね妥当であると認め、下記の意見を付して答申します。

記

1. 総括意見

- ・全体的にわかりやすく、あらゆる可能性を試そうとする戦略性のある総合計画でまとめられています。
- ・本計画は、「市民へわかりやすく周知する」とともに、市民・事業者など様々な主体との共通の活動指針となるよう、「市民協働のまちづくり」を進めていただきたい。
- ・本計画の推進にあたっては、「PDCA サイクル」を確立し、実効性を高めるとともに、「進ちよく状況や効果検証を広く市民に公表する」ことを努めていただきたい。

2. 個別意見

(1) 子どもがいきいきと輝きみんな教育・子育てを支えるまちづくり

- ・待ったなしの少子化対策として、「子ども・子育て支援の充実」「学校教育の充実」に重点的に取り組まれない。

(2) 共に支え合い健やかに暮らせるまちづくり

- ・市民の誰もが生き生きと暮らせるように、健康維持の啓発と切れ目のない医療や介護を提供するとともに、「地域の見守り、支え合う仕組みづくり」を進められたい。

(3) 産業の発展と交流でにぎわうまちづくり

- ・焼津の強みである地場産業のさらなる発展のため、「多くの関係者を巻き込んだ新たな地域商品の創出」や「地域内外への販路拡大」などに取り組む仕組みづくりとともに、「若い世代がやりがいを持てる雇用の充実」を図っていただきたい。

- ・焼津の玄関口である焼津駅周辺を中心とする「市街地のにぎわい創出」に積極的に取り組んでいただきたい。

- ・世界規模のスポーツ大会が国内で開催されることを契機に、「スポーツ交流」とともに、観光資源として「食や景観、歴史・文化施設などの有効利用」を図り、これらを「市外・世界へ発信」し交流人口の拡大に寄与していただきたい。

(4) 暮らしやすく安全で安心なまちづくり

- ・市民一人ひとりが災害に備える「防災意識の向上」の取組を継続的に行っていただきたい。

- ・超高齢社会を迎えた中で、「高齢者の交通安全対策」に取り組んでいただきたい。

(5) 効率的な行政経営の推進

- ・情報通信技術（ICT）の進展が加速し、社会のあらゆる分野で活用されることは必至であり、行政の省力化や市民サービス向上を最優先に活用していく事が必要であります。